

2022年度 木祖村立木祖中学校グランドデザイン

生徒の姿

- 明るく素直で、諸活動に前向きに取り組もうとする生徒が多い。
- 授業に意欲的に取り組んでおり、積極的に発言する姿勢が育っている。
- 全体の場で、考えや思ったことを自分の言葉で話すといった表現力に課題がみられる。
- 少人数の固定された人間関係での生活に慣れるあまり、場にそぐわない言動が見受けられることがある。

◇学校教育目標

せいめい

生命を大切にし 自ら伸びようとする生徒

村民の学校教育に寄せる強い願いや期待

昭和22年開校、「親はボロをまわって子どもの教育のために」と昭和55年校舎改築。中庭の巨石「野人の理想」に込められた願いは、どっしりとした人間になってほしい。権力におもねることなく、堂々と自己の確立を目指してほしい。

目指す生徒の姿

- ふるさとを愛し、他と協調しながら物事を進めることができる生徒 (思いやる心)
- 自らを律し、たくましく生活するための心身の健康と体力を備えた生徒 (鍛える心)
- 自ら課題をもって粘り強く追究し、進んで表現することができる生徒 (自ら学ぶ心)

本年度の重点

- 歌声・挨拶**
 - ・「自ら進んで」「気持ちを込めて」「気持ちを合わせて」取り組めるようにする。
 - ・自主性、協調性、協働、感謝などの価値や大切さを自覚できるようにする。
- 先見考動・無言清掃**
 - ・開始時刻3分前を目安に行動を起こし、次の活動の準備ができるようにする。
 - ・無言で清掃することの意味や価値を自覚し実践できるようにする。
- 分かる授業・学び合う授業**
 - ・授業のユニバーサルデザイン化を推進する。特別支援教育の充実。
 - ・伝え合う場面、かかわり合う場面を積極的に位置づける。ペアやグループでの学習。

思いやる心

- 1 歌声・学級づくり**
 - 歌声づくりで学級づくり(協調、共感等)
 - 学級目標具体化のための手だて(自主、自律、協力、協働等)
- 2 豊かな人間関係を育む「生徒指導」「道徳教育」と「人権教育」の充実**
 - 挨拶の励行(気持ちのよい会釈や挨拶)
 - 道徳教育の積み重ね(時間の確保と指導内容の研究、教師としての愛情をもつ)
 - 地域素材を生かした道徳教育、かかわり体験活動と関連づけた道徳教育の推進
 - 日常的な人権教育(日常生活における人権意識、人権感覚、自己肯定感の高まり)
 - 学年通信等を利用した「深まり」の発信
 - 「教育相談」と「教科相談」の実施
 - 「いじめアンケート」等や各種検査による生徒の人間関係の把握

【総合的な学習の時間】

(おおりの時間)

- ☆ **“生きる力”を育む**
「体験学習」「異年齢学習」「交流学习」
 - 価値に気づき、価値を深化させるための、事前・事後学習の充実。
 - 地域への愛情を育むための「ホンモノ(人ものこと)」とのかかわり。
 - 多様性の良さに気づき、協働することの大切さを学ぶ「交流学习」
- ☆ **生き方学習としての「進路指導」**
 - 学びに向かう力と人間性を育むための問題解決的な学習の充実。
 - 集団の中での役割を自覚し、役に立つ喜びを実感するための諸活動の充実。
 - 多様な“生き方”を知り、自分の“生き方”に活かすための「ホンモノ」とのかかわり(平和学習 職場体験学習 道徳GT…)

自ら学ぶ心

- 1 学習指導の充実**
 - 価値ある素材の選定 学ぶ意欲を高める学習展開の工夫 本当の学び 本物の学び
 - どの子どもも分かる授業に向けたユニバーサルデザイン化
 - ・三観点 ・板書や指示 ・視覚化
 - 学び合う授業づくり
 - 「授業に向かう姿勢づくり」「家庭学習の習慣形成」
 - 授業参加型研修や生徒授業アンケートの結果等による授業改善
- 研究テーマ「気づく つなぐ 分かり合う」**
- 2 特別支援教育の充実**
 - 特別支援教育コーディネーターを核にした校内特別支援体制づくり
 - 普通学級在籍の軽度発達障害や悩みを抱える生徒への支援策 研修会の実施
 - 外部講師の一層の活用

鍛える心

◇ 生徒会活動・部活動等を通し、幅広い自己確立を目指す ◇

- 令和4年度生徒会スローガン 「『繋』 ～心ひとつに、広げよう笑顔の輪～」
- はじめある学校生活「師弟同行」「凡事徹底」「朝読書指導」「無言清掃指導」「入退場指導」「給食指導」
- 「歌声づくり」「あいさつ」「清掃」「先見考動」の継続・発展
- 日常生活を一層大切に
- 日常的な学習と生徒会活動の集大成の発表の場としてのおおとり祭の実施
- 「知・徳・体」のバランスのとれた木祖村スポーツクラブ(課外活動)の運営(村スポーツ文化活動運営委員会との連携)



3 共育(家庭・学校・地域社会)を基盤にした学びの環境づくり

- 学校要覧、HP、学年・学校だより等による学校の願いと実践、その成果と課題等の発信
- 村CSの活動、もいちど小中学生、ふれあい交流会、ふれあい訪問、奉仕活動などを通した、地域と共に歩む学校

『ホンモノ(人ものこと)』とのかかわり

家庭・地域・学校で、共に子どもを育てる

PTA・地域との連携

- 地域行事等を通して、心を通わせ、子どもを知るとともに健やかな成長を支援する。
- 学校行事、参観日等への積極的参加を通して、学校への理解を深める。
- 基本的な生活習慣の定着を図るとともに家庭学習・読書を習慣化する。
- 携帯電話、インターネット等の危険性について学び、指導を行う。

学校、家庭・地域による学校評価の実施

- 学校・学年・学級だより等により、学校教育の方針や内容、子どもの取組等を伝える。
- 学校自己評価(教職員による評価シート、保護者へのアンケート)を実施し、結果を公表する。
- 学校、家庭、地域で成果と課題を共有し、改善に向けて共に取り組む。